杉森

杉並区立 杉森中学校
学校だより 第３９８号
平成３１年1月３１日
平成３０年度　第9号

「自分から」

校長　山内 清一

新年明けましておめでとうございます。昨年は、本校の教育活動に、ご理解とご支援を賜りまして誠にありがとうございました。今年も教職員一同、子どもたちのために誠心誠意努力いたします。保護者・地域の皆様には、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今年の干支（十干と十二支）は、「己亥（つちのと・い）です。「己」は、草木としては「成長を終えて形が整った」ことを意味し、人の成長に置き換えると完成した自己が、次の段階を目指す準備をする年という意味をもっています。また、「亥」は、植物の成長としては、葉っぱも花も散ってしまい、種に生命を引き継いだ状態で、人間でいうと翌年から始まる成長に備えて「知識を増やし、精神を育てる」など「内部の充実を心がける」と良い年になることを表しています。つまり、「己」「亥」の意味するところは、内なる充実を図り、次のステージへの準備をする年ということになります。これまで本校は重点目標である「自主・自律」や生徒会スローガンである「自由と責任」のもと、様々な取り組みを行ってきました。生徒たちには、今までの取組に満足することなく、さらに自分を磨き、心の成長を図ってほしいと思います。

さて、学校も一年間の総まとめの時期を迎えます。学校全体としても、「充実した一年を終えることができた」と胸を張って言えるように、三学期もともに努力していきたいと思います。そのために、「『〇〇してくれない』と不平・不満を口にする前に『何ができるか』を考えて行動しよう。」という話を始業式でしました。

私たちは「ある」ものに鈍感で「ない」ものには敏感です。「〇〇がない」「〇〇もない」「〇〇もしてもらえない」など、普段の生活の中で「ないもの」のほうに目がいきがちです。曽野綾子さんが書いた「老いの才覚」の中に、「どんな若い人でも『くれない』と言い出した時が、その人の老化の始まりです」「若くても他者への配慮がなくなったら、それが老人なんですよ」と、若者に向けた言葉があります。そして、「何もしてくれない」と相手への不満を言う前に、「自分でしてみよう」という気持ちにどうしてなれないのか。「何をしてもらうか」ではなく、「何ができるか」を考えて行動することが大切であると訴えています。

３年生と面接練習をしたときに、「自分から積極的に人と話せるようになりました」「皆をまとめる仕事をしたいと思い、学級委員や実行委員に自分から立候補し頑張ることができました」という答えがありました。「己亥」の今年も、杉森中の生徒が「自分から」という意識を持ち、「何ができるか」を考えて行動し、次へのステップアップへ繋がるように自分を高めていってほしいと願っています。

～1月のアルバム～

〖2学年菅平スキー移動教室〗１／１６（木）～１９（土）

天候に恵まれた３泊４日の長野県菅平高原でのスキー教室でした。スキー初心者も最終日は頂上から颯爽と滑り降りるほど上達し、宿の食事もおいしく、レクも盛り上がり、友情も深めることができました。

〖オリンピック・パラリンピック教育「考えよう！明日の体づくり」〗1/２５（金）

（株）明治の管理栄養士 髙原牧子さんに講演していただきました。成長期に大切な生活習慣、バランスのよい食事、骨が伸びる仕組みなどを知ることができました。「アスリートの食事が私たちの食事の内容と変わらないのに、量の多さに驚いた」「年をとったときのために今の食事が重要なのがわかった」等の感想がありました。

☆杉並区中学校書き初め展に杉森中代表に選ばれて出品されました☆

３年　友野 ゆり子さん　長田 真優さん

２年　加賀 廉人くん　西宮 瑞希さん

１年　白石 信子さん　山本 絵理佳さん

２月の予定

１（金）校外学習（１年）
　　都立推薦発表・手続き
４（月）朝礼
６（水）都立一般出願
８（金）書評
９（土）土曜授業　学校公開
　　国際理解授業
　　新入生保護者説明会

１０（日）私立一般入試
１１（月）建国記念の日
　　私立一般入試
１２（火）各種委員会
１３（水）杉教研教科部会
　　給食後下校
　　都立一般願書取り下げ
１４（木）都立一般願書再提出

１５（金）書評　中央委員会
１８（月）生徒朝礼
２２（金）書評　都立一般入試
２３（土）都立一般入試
　２６（火）～２８（木）
　　学年末考査　避難訓練
SC ルーム開室［開放会議室］
５(火)　７(木)　12(火)　15(金)
19(火)　21(木)